日本計量新報
計測と科学
日本計量新報社

4月の機械統計確報

精密測定機器が引き続き好調

電気計測器は減速

経済産業省が6月13日に公表した4月の機械統計確報によると、前年同月比で増えたおもな計量計測機器の生産額は、電気計測器の工業用計測制御機器は7・1％増、工業用長さ計11％増、精密測定機（光学測定機を含む）38％増、医用測定器29％増、ガスメータが9％増、分析機器2％増である。減ったのは、電気測定器では電気測定器（ICテスタを除く）21％減、同半導体・IC測定器は23％減、工業用計重機2％減、試験機14％減、測量機器15％減、となっている。精密測定機器が引き続き好調である。計量計測機器市場を引っ張ってきた電気計測器は減速してきている。

電気計測器は397億6600万円

電気計測器の4月の生産額は機械統計確報では397億6600万円（㈳日本電気計測器工業会の統計項目とはすこし分類が異なる）。電気測定器が275億9000万円。電気測定器（ICテスタを除く）が生産金額95億7800万円で前年同月比21・0％減である。前月比は30・6％減。電気測定器の内訳を見ると、電圧・電流・電力測定器は7億3700万円、波形測定器12億7900万円、無線通信測定器20億2800万円、回路素子・材料測定器3億3800万円、伝送特性測定器4億1300万円、光測定器2億6200万円、測定用記録計・データ処理装置5億3600万円、その他の電気測定器39億8500万円である。

電気測定器の約65％を占める半導体・IC測定器の生産金額は1800億1200万円（前年同月比23・0％減）である。前月比36・0％減。4月の生産数量は710台。このなかではメモリICテスタの生産額が81億7900万円と、半導体・IC測定器の45・4％を占める。

電気計測器の工業用計測制御機器は86億1300万円（前年同月比7・1％増）。前月比60・5％減。3月は年度末の駆け込み需要があるためである。内訳は、プロセスオートメーション用計測制御機器82億3700万円、ファクトリーオートメーション用計測制御機器3億7600万円。

電気計器は35億6300万円。内訳は、指示計器が4億1300万円、電力量計が31億5000万円。

放射線測定器は5億6400万円。環境計測機器は9億8700万円。医用測定器は58億5500万円の生産で前年同月比29・0％増である。前月比37・1％減。数量は5万9878台で前年同月比102・6％増、前月比15・3％増。

精密測定機器は94億5800万円

工業用長さ計は28億500万円で前年同月比11・0％増と好調。前月比で7・9％減。生産数量は49万3607台（前年同月比17・3％増）。

精密測定機（光学測定機を含む）は、66億5300万円で前年同月比38・3％増。前月比23・0％減。生産数量は2万6770台（前年同月比11・7％増）。

ガスメータは25億3800万円で前年同月比8・9％増となった。生産数量は23万6540個（前年同月比2・9％減）。その他の積算体積計を見てみると、水道メータは11億9200万円。積算式ガソリン量器は7億9800万円。

圧力計（アネロイド形）は、10億2800万円。

（次号以下につづく）

日本で唯一のトラック用
マットスケール 軸重 30t
日本ダイナマット株式会社
東京都荒川区南千住5丁目18番15号
〒116-0036 ☎(03)3965-2031

Yamato
業界初の振動防止機能を搭載で作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり
"UDS-1V/1VD"

天和興産株式会社
電話 明石(078)918-5577

新CIML委員に三木幸信氏

日本のCIML（国際法定計量委員会）委員が、田中充氏（独）産業技術総合研究所計測標準研究部門長）から三木幸信氏（同部門副部門長、法定計量担当）に交代した。5月23日付で経済産業大臣より辞令が発令された。

三木氏はCIML委員として、6月18日から20日までフランスのリヨンで開催される第40回CIML会議に出席する。

三木幸信氏

佐藤計量器

放射温度計「SK－8900」新発売

㈱佐藤計量器製作所（千代田区神田西福田町4－8111、後藤鉄四郎社長）は、レーザマーカ付きで高機能な赤外線放射温度計「SK－8900」を、税込1万4490円で新発売した。

同器は測定対象の材質に応じて最適な放射率が設定でき（0・95、0・90、0・85の3点切替）、暗い場所でも液晶の温度指示値が読めるバックライトを採用。レーザマーカを搭載しているので、効率よく必要な部分のみを測ることができる。

そのほか、オートパワーオフ、自動ホールド機能などを装備している。成型加工の温度管理、電気設備の保守・点検に最適である。

【仕様】▽寸法＝幅46㎜×高さ160㎜×奥行78㎜▽重量＝約157g（電池含む）▽測定範囲＝マイナス40℃～450℃▽測定精度＝マイナス40℃～マイナス20℃：±3℃、マイナス19・9℃～39・9℃：±2％rdgまたは±2℃のいずれか大きい値、400℃～450℃：±2・5％rdg▽測定領域＝120㎜～1000㎜▽距離係数＝D（測定距離）：S（測定領域直径）＝10：1▽価格＝1万4490円（税込）

今週の主な記事

4月の機械統計確報、CIML委員交代、佐藤計量器新製品　①面
田中衡機工業所・福山匡社長インタビュー　②面
都道府県計量行政協議会総会開く、05年各団体総会から　③面
千葉市計量講演会、㈳日本包装技術協会新会長、ほか　③面
セミナーのお知らせ、㈳日本環境測定分析協会役員　④面
都計量検定所立入検査、ギャラクシー賞決定　④面
資料・計工連事業計画、おじんの甘口・辛口　⑤面
JCSS校正事業認定、資料・計量法だし書に基づく告示　⑥面
私の履歴書・齊藤勝夫(76)、社説、計量ひとくちメモ　⑦面
新製品ニュース、光ナノテクフェア盛況、訃報ほか　⑧面